

第17回「地方発！ベンチャー企業ミートアップ」登壇企業紹介

1. 株式会社ニコドライブ (法人番号9020001109549)

代表者	神村 浩平
所在地	〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP 西棟 4F NEO G-3
設立	2015/2/5
事業概要	移動格差解消事業 身体障がい者向け自動車の運転補助具開発製造販売 身体障がい者向けビジネスコンサルティング事業
企業URL	http://nikodrive.jp/
プレゼンターマ	身体障害者の移動手段の現状課題と解決を目的とした移動格差の解消事業
プレゼン概要	身体障害者の移動手段の現状とその社会課題についてお話しさせていただき、身体に障がいのある方々がいつでも、どこへでも、自分の意志で自由に移動ができる社会を目指して、一般の自動車と道路を活用したユニバーサルな移動手段についてお話しさせて頂く予定でございます。
PR事項	神奈川県発の車椅子の当事者が代表を務める社会起業家。福祉機器コンテスト2014 優秀賞受賞、2015年第100回 かわさき起業家オーディション優秀賞受賞、2016年にはNHKニュースウォッチ9でも特集が放送されました。代表者自身、足に障害があり車椅子生活を送っております。身体障害者当事者目線から移動の格差という社会課題を解決するために個人事業主として2013年に起業し、2015年に法人化。社会課題の解決策と製品の認知・普及活動を行っています。
期待事項	事業活動の認知度向上と借入による資金調達、販路拡大による製品の普及に期待をしております。

2. Bloom Technology株式会社 (法人番号1010001164271)

代表者	齊藤 英樹
所在地	〒860-0812 熊本県熊本市中央区南熊本3-14-3 くまもと大学連携インキュベータ304号
設立	2015/11/19
事業概要	医薬品開発
企業URL	http://bloom-technology.co.jp
プレゼンターマ	毒性AGEと戦い、新しい生命を育むBTC
プレゼン概要	世界で初めて食事由来の毒性AGE(糖化産物)を解明し、その医薬品を開発を目指す。毒性AGEは生活習慣病の原因でもあるが、まず突き止めた不妊原因物質として、判別、治療に貢献して、高齢出産、少子化対策の切り札として判別キットを開発し、同時に治療法を提案していく。
PR事項	熊本大学発ベンチャー、2017年4月日経バイオテクONLINEにて弊社紹介をいただいた。
期待事項	基本的に資金援助。開発に係わる人員増、開発用機器をそろえて年内の新抗体の開発を目指したい。

3. 株式会社エンジェルック (法人番号5080001020274)

代表者	小林 達也
所在地	〒424-0821 静岡県静岡市清水区相生町6-17 静岡市清水産業情報プラザ713号
設立	2015/5/1
事業概要	工業用ゲル応用製品の製造販売
企業URL	http://www.engelook.com
プレゼンターマ	唯一無二のバググンの高性能×環境安定性×安全衛生性を3両立の「工業用ゲル応用製品」について
プレゼン概要	振動／衝撃が起因のデジタル家電、IT～医療機器などの精密製品の不安定現象から誘発される品質低下とユーザの不快不満の対策技術の一つが工業用ゲル応用製品である。 それに伴う、対象機器の品質と付加価値向上の豊富な経験と実績から構築の独自技術とノウハウを日常生活内の同様現象に適用の本事業要旨、用途例、今後の展開、工業用ゲル応用製品と同技術の特長など。

PR事項	<ul style="list-style-type: none"> ・競合他社が追従不可能な工業用ゲル応用製品の開発～事業展開まで、一貫体制の豊富な経験と実績、独自ノウハウと技術を保有の唯一無二の少数精鋭企業。 ・振動／衝撃（動的ストレス）対策市場は、ニッチ分野であるが潜在用途は無限大から、独自製品シリーズによる「新市場の創出×ファン層拡大」がコンセプト。 ・2015年 創業促進助成金 採択 ・2016～2020年 静岡県 経営革新計画 承認 ・2017年 静岡県地域活性化助成金 採択
期待事項	資金調達、販路拡大、業務提携

4. マイクロシグナル株式会社 （法人番号3130001033677）

代表者	渡辺 國寛
所在地	京都府久世郡久御山町市田新珠城207
設立	2000/4/20
事業概要	ファブレス半導体ベンチャーとして独自技術を活かしたIC（集積回路）製品の開発生産を行っています
企業URL	http://www.microsignal.co.jp/
プレゼンテーマ	限界を超える高速高感度受光素子
プレゼン概要	産業用光センサーや、電子回路の破壊を防止するフォトカプラ、あるいは高速光通信分野において高速高感度の受光素子は莫大な市場がある。 独自の微小ドット拡散タイプの受光素子はこれまでの受光素子の応答速度や感度の限界をブレイクスルーものです。 既にこの新技術は製品化されており、産業量光センサ用として30万個の納入実績があります。 今後の製品展開として従来製品の2倍以上となる100Mbps以上の高速フォトカプラを開発しています。 2000億円程度のフォトカプラ市場において、高速なフォトカプラは25%程度の市場が見込まれます。また、現時点ではフォトカプラで実現できていない100Mbps以上のニーズに対して、安全性に問題のあるデジタルアイソレータが利用されており、高速のフォトカプラが求められています。
PR事項	リーマンショックを前後して短距離光通信用デバイスで1億円以上の年商があった。 最新の独自技術を活かした高速高感度の受光デバイスの販売実績が40百万円程ある。 大学との各種連携や論文発表20件以上、LSIIPデザインアワードIP他賞受賞、H25年度ものづくり補助金他15件以上の研究開発助成に採択、H28年度ジェトロ外国出願支援事業に採択
期待事項	資金調達、販路拡大、業務提携